

ネ科通信 4

(山野草の里・上野森林公園観察会から)

2012・9・1

エノコログサ属の花序と小穂の構造

一見ノギがあるようにみえますが、ノギではなく、小穂の下にノギのような剛毛(刺毛)が生えています。右の写真の左側は穎果(果実)がぎっしりとついていますが、右の方は穎果が落下して殆どなくなっていることからノギでないことがわかります。(ノギであれば穎果とともに落ちて軸だけが残ります)

(a) エノコログサ

小穂は長さ 1.8 ~ 2.3mm、第2 包穎は小穂と同長で両性 小花をほとんど頂までおおう。

(b)アキノエノコログサ 小穂は長さ 2.8 ~ 3mm、第2 包穎は小穂より明らかに短く、両性小花の上部は広く裸出する(両性花の護穎がみえる)。花序はやや長く、ほとんど先が垂れさがる。

(c)ザラツキエノコログサ

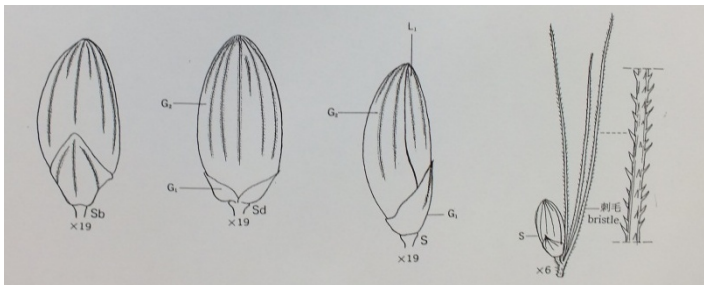
外来の1 年草、稈(茎)は傾いた基部から直立、高さ 30 ~ 100cm。

小穂は長さ 2 ~ 2.3mm。エノコログサに似るが、途中で断続する円柱状の花序、長軟毛はなく、下向きの小刺毛があってざらつく花序、下向する小刺が並ぶ剛毛(刺毛)の3点で見分けられる。下図を参照してください。

* 下図は日本イネ科図譜(長田武正著・平凡社)から転写しました。



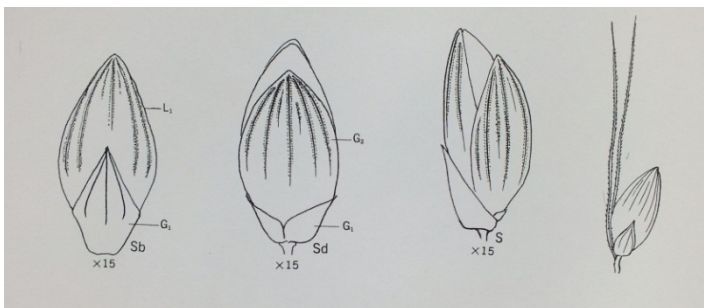
エノコログサ



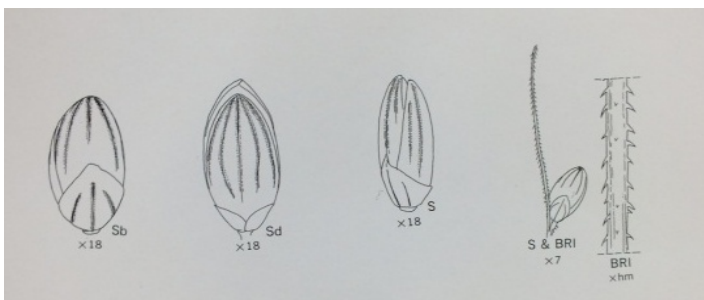
左図はそれぞれの小穂を、第一穎のある方から、第二穎のある方からみたところ、3 番目は小穂を横からみたところです。

右端の図は小穂と刺毛(剛毛)との位置関係を示しています。

アキノエノコログサ



ザラツキエノコログサ



エノコログサ